

客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要

各授業科目の成績評価については、シラバスの「評価方法」欄に記載した通りに成績が出されており、その方法は、本学履修規程第11条に「筆記試験、口述試験、レポート、論文、受講態度などにより評価するものとする」と定められ、多角的な成績評価が可能になっている。また、実習の成績評価においては、実習事前・事後評価と、実習先からの評価を併せて、実習委員会で諮り、総合的に評価している。

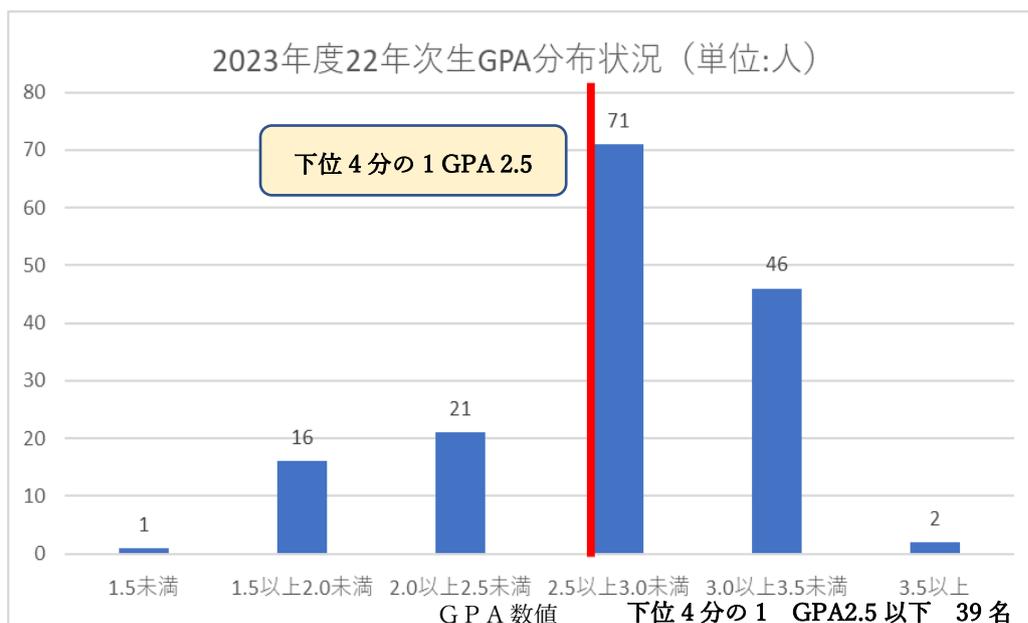
授業への出席管理は、授業毎に学生署名のマークシート式出席表を配布・回収し、教務課によって一括管理している。本学では、学生一人一人が利用できるキャンパスプラン学生Webサービスを運用しており、シラバスの閲覧、学生個人の単位の取得状況や履修状況、各授業への出席状況の確認が行えるようになっている。一方、教職員も、学生一人一人の学修意欲の把握ができる。

成績評価は、成績評価はGPA制度を活用し、GPA評価とともに秀・優・良・可・不可によって評価されており、秀・優・良・可の評価に対しては単位を与え、履修を認定している。令和元年度より、各学生の履修科目の成績評価を基に、全科目合計点の平均を算出（100点満点で点数化）、評価点数をGPAで指標化し、公開することを始める。

算出方法

各教員から提出された履修科目の成績評価を基に、全教科の合計点の平均を算出する。下記はその分布を示した表である。（2023年度／令和5年度）

こども教育学科 22 年次生(157 人)



こども教育学科 23 年次生(166 人)

